

## 清末民初期の来日中国人留学生と中国現代文学 日中学術研究集会のご案内

郭沫若はかつて「中国文壇の大半は日本留学生によって築かれたものだ」と書いていますが、まさに郭沫若が言ったように中国現代文学の建設過程で、清末民初の来日留学生は極めて重要な役割を果たしました。“彼らの貢献の大きさは誰も否定することはできません。しかし、彼らの留学と留学時期のこまごまとした事柄については、すでに十分に解明された、とは言えません。日本郭沫若研究会は、九州大学言語文化研究院、日本現代中国学会西日本部会とともに、この問題に関心と実績をもつ中国人研究者を招へいし、「清末民初来日中国人留学生と中国現代文学」を主題とする学術研究討論会を共同で開催することといたしました。会議は2015年3月25日、九州大学西新プラザで開催されます。ご出席いただきますよう、ご案内いたします。会議の概要は以下の通りです。

議題：

- 1、清末民初の日本における留学生政策、教育制度
- 2、中国人留学生と同時代の日本文化、思想
- 3、中国派遣日本人中国研究者と中国現代文学
- 4、台湾留学生と中国現代文学・芸術

場所：九州大学西新プラザ会議室

時間：2015年3月25日（木）

参加費：500円（資料代）

連絡場所：日本郭沫若研究会事務局

日本国福岡市中央区谷2-20-8-311 岩佐方

[iwasa.yanzuo@gmail.com](mailto:iwasa.yanzuo@gmail.com)

FAX：81-92-715-2554

研究発表について

この研究会で議題に関連した研究発表をご希望の方は、メールで岩佐昌暉会員 [iwasa.yanzuo@gmail.com](mailto:iwasa.yanzuo@gmail.com) までご連絡ください。

2014年12月22日

日本郭沫若研究会  
九州大学言語文化研究院  
日本現代中国学会西日本部会事務局